



平成23年4月22日

各 位

会 社 名 大和ハウス工業株式会社  
(コード番号1925 東証・大証第一部)  
代表者名 代表取締役社長 大野 直竹  
問合せ先 経営管理本部IR室長 土田 耕一  
電話番号 (06) 6342 - 1400

### 退職給付数理差異償却損の計上に関するお知らせ

当社は、現在集計中の平成23年3月期決算（平成22年4月1日～平成23年3月31日）において、退職給付数理差異償却損を営業外費用として計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

1. (1) **【連結】** 平成23年3月期末の退職給付数理差異償却損の総額

(A) 平成23年3月期末の退職給付数理差異償却損の総額（連結）	8,421 百万円
(B) 平成22年3月期の連結純資産の額 (A/B×100)	617,769 百万円 ( 1.4%)
(C) 平成22年3月期の連結経常利益額 (A/C×100)	60,036 百万円 ( 14.0%)
(D) 平成22年3月期の連結当期純利益額 (A/D×100)	19,113 百万円 ( 44.1%)

(2) **【個別】** 平成23年3月期末の退職給付数理差異償却損の総額

(A) 平成23年3月期末の退職給付数理差異償却損の総額（個別）	5,914 百万円
(B) 平成22年3月期の純資産の額 (A/B×100)	545,317 百万円 ( 1.1%)
(C) 平成22年3月期の経常利益額 (A/C×100)	39,045 百万円 ( 15.1%)
(D) 平成22年3月期の当期純利益額 (A/D×100)	12,969 百万円 ( 45.6%)

(注) 当社グループは、退職給付会計における数理計算上の差異について、発生年度に一括処理を行っています。当期は、年金資産の運用が当初の想定を下回ったことと、退職給付債務の再計算差異が発生したことにより、その不足分を数理計算上の差異として営業外費用に計上いたします。

2. 今後の見通し

平成23年3月期の業績につきましては、現在集計中ですが、業績予想の修正が必要な場合は、速やかにお知らせいたします。

なお、平成22年11月9日に公表しました平成23年3月期の通期連結業績予想におきまして、退職給付数理差異償却損として50億円を織り込んでおります。

以 上